

## 青谷地域における生活交通の取組状況について

### 〈青谷地域の公共交通の経緯〉

青谷地域では、令和元年 12 月に示された、鳥取市生活交通創生ビジョン素案の中で、日置線と勝部線が、5 年から 10 年の間に廃止の可能性が高いバス路線として含まれたことから、青谷地域の生活交通のあり方検討に着手しました。この検討組織として、令和 2 年 7 月に「鳥取市青谷町地域生活交通協議会」を設置して以降、これまで 7 回の会議を開催し、バス路線廃止後の生活交通確保対策について検討しています。

### 〈これまでの協議による検討結果〉

- ◆青谷町の実情を考慮し、路線バス事業者撤退後の生活交通の手段として、乗合タクシー、共助交通、市有償バス等について検討、協議を行い、市有償バスという方針に決定しました。
- ◆通学が主で利用人数の多い朝夕の時間帯と、高齢者等が通院、買い物等少人数で利用する日中の時間帯は、利用者の状況や利用人数等の条件が異なるため、切り離して確保策を検討することになりました。
- ◆使用する車両は、利用者の多い朝、夕の時間帯は、中型バス程度の車両 2 台を、利用者の少ない日中は、15 名程度が乗車できるワゴン車 2 台（内 1 台は現行の絹見バスを利用）の計 4 台で運行する計画（案）を提案しました。
- ◆既存の絹見バスの路線を延長し、絹見～長和瀬～青谷を循環する路線を提案しました。  
※日置線、勝部線、養郷線、栄町線については現行を踏襲します。
- ◆青谷町は他地域とは異なり、町内にタクシー事業所が営業しており、今後の生活交通の手段として、非常に重要な役割となることが想定されます。このタクシー事業所が今後も営業を継続できるよう、互いに協議しながら車両の運行方法やダイヤについて、検討していく必要があります。
- ◆路線バス廃止が決定するまでは、状況を見ながらより良い運行計画やダイヤになるよう、検討や見直しを引き続き行います。

### 〈今年度の取組〉

#### ◆試験運行の実施

- ・これまで鳥取市青谷町地域生活交通協議会で協議・検討してきた、運行ルートやダイヤ、車両の運用について、実走による検証を行い、基礎データを収集し、将来の実運行に備える。
- ・試験時期：10 月以降予定
- ・運行回数  
3 回程度（3 日分）  
1 回：ルート、ダイヤ、車両運用の実走検証、2 回目：実際の時間帯での実走検証  
3 回：2 回目の結果により必要に応じて実施